

【様式】

平成28年度 学校マネジメントシート

学校名 (津工業高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		『質実剛健 ～燃やせ青春 はぐくめ友情 はばたけ未来へ！～』 「志」と「技」と「心」を育み、生徒の夢の実現に貢献する学校
(2)	育みたい 児童生徒像	○明確な目的意識を持ち、進路実現に向かって努力する。 ○心身ともにたくましく、心豊かで社会に貢献できる。
	ありたい 教職員像	○目指す学校像実現に向けて、意思疎通を図りながら、互いに協力して取り組む。 ○仕事にやりがいを感じ、生徒の成長を自らの喜びとするとともに自らも成長しようとする。

2 現状認識

(1) 学校の価値を 提供する相手 とそこからの 要求・期待	<生徒> 自己実現への支援（授業、進路、資格取得、部活動） <保護者> 子どもたちの充実した高校生活（学習活動、基本的な生活習慣、安全・安心、進路実現、部活動、情報の提供） <企業・大学> 生涯にわたる教育力の定着（知識・技能の習得、躰、コミュニケーション能力） <地域> 学校の施設と教育力の提供（協働、参画、防災拠点）	
	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
(2) 連携する相手 と連携するうえ での要望・期待	<家庭> 子どもたちの充実した高校生活（学習活動、基本的な生活習慣、安全・安心、進路実現、部活動、情報の提供） <中学校> 津市および隣接地域の工業高校としての役割（連携による学習機関） <企業・大学> 社会人としての素養（基礎学力、専門技術、社会的マナー、規範意識、コミュニケーション能力） 学生としての学力、専門技術等の習得（独自能力、積極的な学習意欲、学校理解） <地域> 学校施設と教育力の提供（協働・参画、避難・防災拠点）	<家庭> 学校への理解と協力・信頼関係（生徒の健康管理等、教育活動への協働・参画） <中学校> 教育内容、教育活動の理解・参画、支援、連携（進路先としての選択肢、基本的な生活習慣の確立、学力、工業高校への興味・関心） <企業・大学> 継続・発展的な雇用、教育活動への参画と支援（外部教育力、学校評価、インターンシップ受入等） 進路としての選択肢、教育活動への参画と支援（単位修得、公開講座等の専門教育、専門技術の提供） <地域> 教育内容等の理解（地域教育力、地域文化の指導・提供、学校評価）

(3) 前年度の学校関係者評価等		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のために親身になり、丁寧な指導をしている。逆に、先生方に負担がかかっているか心配である。 ・最近の傾向として、受動的な生徒が多い中、資格試験に向けた補習などきめ細かい指導を行っている。これを今後、家庭学習など能動的な学習へと、どのように向けていくかが中学校も含め課題となると思う。 ・津工生を見ていると、しっかりと挨拶ができて清々しい。これが学校内だけで終わるのではなく、日頃から当たり前のできるようになることがよりベストな状態である。引き続き指導をお願いしたい。 ・就職することへの意識を高める取り組みが為されていることが、生徒の成長に繋がっていると思うので、これからもきめ細かな指導を継続していただきたい。 ・情報モラルの意識向上に向け、講話等を定期的実施してほしい。 ・物騒な世の中になってきているので、学校においても来校者に対して声をかけるなど、教職員の危機管理意識を高めてほしい。
(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで、「ものづくり」を通じた生徒一人ひとりに応じたきめ細かい指導によって、生徒の進路希望の実現を達成してきました。しかし、最近の多様な社会状況の中で進路希望を実現していくためには、生徒一人ひとりがさらに明確な目的意識を持ち、職業観や勤労観を育むとともに基礎学力やコミュニケーション能力を向上させ、その実現に向けて努力していくことが必要です。 ・多くの生徒が、落ち着いて学校生活を送り、学習活動や資格取得、部活動等に熱心に取り組んでいます。学校生活をさらに活性化するためには、生徒一人ひとりが自主的にルールやマナーを守り、相手を思いやる心を常に持ち、人間としてさらに成長していく必要があります。
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな期待を持って入学してくる生徒の期待に応えられる活気あふれる学校づくりを進めるとともに教職員がやりがいを持って学校運営に取り組めるよう、さらに環境整備、業務体制を充実する必要があります。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・明確な目的意識を持ち、進路実現に向かって努力する生徒を育成するため、生徒一人ひとりに応じたきめ細かい指導を進め、基礎学力の向上・定着やコミュニケーション能力の育成に取り組む生徒の可能性を伸ばします。 ・心身ともにたくましく心豊かな生徒を育成するため、あたりまえのことをあたりまえにできる基本的な生活習慣の確立、相手を思いやり命を大切にすることの醸成を進めます。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の向上を目指し、授業内容を充実するとともに授業公開や授業研究に取り組み、教職員の資質向上や業務改善に継続的に取り組みます。 ・活力ある学校組織を構築するため、教職員が意欲的に業務に取り組み、充実感を得ることができるよう、働きやすい職場環境の整備や組織の見直しなどに取り組みます。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導	<p>(1) 授業改善や定期的な補習等により学力の向上に取り組めます。</p> <p><教務部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の向上・定着を目指した学習指導を検討、計画します。 	<p><教務部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導委員会を5回開き、新年度のカリキュラム・選択科目・シラバス・基礎力テストなどの検討をすることができた。 	◎

<p>の 充 実 に よ る 学 力 の 向 上</p> <p>(取組状況の指標：学習指導委員会1回/月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業時間を確保するとともに教科内容を精選して、わかりやすい授業を行います。 <p>(取組状況の指標：授業変更の徹底、シラバスの検討、授業公開の実施)</p> <p><生徒指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物などで授業の途中退室している生徒を減らします。 <p><図書部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の活発化と活字離れの防止を図ります。 ・図書館を授業で使ってもらえるよう教職員への働きかけを行います。 ・閲覧室内の展示に趣向を凝らし、本に親しみを持ってもらえるよう工夫します。 <p><建設工学科></p> <p>[都市システムコース]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題研究・実習、屋外活動を通じて、技術の向上だけでなく、自ら想像する力、課題を見つけ出し解決する能力を身につけます。 <p>①ものづくり測量大会で入賞できるように頑張ります。</p> <p>②資格取得のため、放課後補習に取り組みます。</p> <p>[建築コース]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常実習や製図の基本は全員目標到達するように努め、各個人の希望に応じて想像・技術力等の育成を行います。 <p>①ものづくり大会木工部門において東海大会、全国大会に出場できるように頑張ります。</p> <p>②能力に応じて放課後補習を行い、全員理解に努めます。</p> <p>③技能士・CAD検定・建設業経理士等の資格取得のための放課後指導に取り組みます。</p> <p><電気科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格試験に取り組み、計画的な補習等により学力の向上に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年休・出張時の授業振替に努力している。課題自習になる授業は、平均して1クラスあたり5回程度で昨年より増加している。 <p><生徒指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入退室の状況・・・減少傾向(10%減) <p><図書部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動の充実 <p>(文化祭参加くしおり作り)。図書館コンクール開催(創作漢字・今年の漢字)。おすすめ本ポスター作成。図書館便り原稿作成。カウンター業務等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業・クラブ活動での図書館利用13回 ・生徒貸出利用105名/716名中(15%) ・書架整理 常時 ・サイン(館内表示)を新調作成 ・展示内容の更新 6回(新着コーナーも増設) <p><建設工学科></p> <p>[都市システムコース]</p> <p>①ものづくり東海大会(測量部門)は入賞できなく残念でした。</p> <p>②資格取得のため、放課後、測量士補、2級土木施工管理技士の補習に取り組み、測量士補は結果として受験者6名中、4名合格、2級土木施工管理技士は、受験者12名中、6名合格です。</p> <p>[建築コース]</p> <p>①放課後毎日練習をしたが入賞出来ませんでした。</p> <p>②普段からおこなっており理解できています。</p> <p>③ほぼ全員取得することができております。</p> <p><電気科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生の第二種電気工事試験筆記試験のための早朝補習、技能試験のための放課後補習、第一種電気工事試験の筆記試験対策の夏季補習と放課後補習、第三種電気主任技術者試験対策のための夏季補習など、計画的に行った。 ・1年生に対しては、計算技術検定、危険物取扱者試験などの対策を行ってきた。9月から、第一種電気工事士筆記試験対策の補習を毎日放課後に行った。11月には、第一種電気工事士実技試験 	
--	---	--

	<p>＜電子科＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習、課題研究の授業により、技術の向上だけでなく、自ら創造する力、自ら課題を見つけ出し解決する能力を身に付けられるよう指導します。 ・ものづくりマイスター制度を利用して技能士の国家資格取得を促します。 <p>＜機械科＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年は、ものづくりの基礎を学習し、企業見学会に参加することで、職業意識、勤労意欲の高揚を図り、2学年は企業見学会と専門的資格取得への取り組みなどから、技術・技能の向上につながる指導を、3学年は、就職試験対策として、一般常識、基礎的専門知識の向上をめざし、学習指導の充実をはかり学力の向上をめざします。 <p>＜3学年＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとに個別懇談をおこない、取り組む姿勢の促進を行います。 <p>＜2学年＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着と更なる学力の向上を促します。 <p>＜1学年＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を大切にする気持ちを育み、集中力向上をめざします。 	<p>対策の補習を平日および土曜日に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月下旬から1月6日までの期間、第三種電気主任技術者試験対策のための冬季補習などを計画した。 <p>＜電子科＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味関心を引き、内容が理解しやすいように工夫して作成したマルチメディアの教材を使いながら授業ができる教室（情報メディア実習室：電子科棟 21 教室）において、ものづくりマイスターによる実技指導を取り入れた実習を行いました（職業能力開発協会派遣講師と教員の TT により 1・2年クラスで実施）。29年度夏期に国家資格「電子機器組み立て」生徒受験予定。 <p>＜機械科＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年は工業基礎で、ものづくりに対する興味を育み、工場見学を企画し、職業意識、勤労意欲の高揚を図ることができました。2学年はガス溶接等の資格取得への取り組みで、技術・技能の向上につながる指導ができました。3学年は、就職試験対策として、検定試験補講と同様に、一般常識、基礎知識の向上を目指した補習への参加を促し、模擬面接や作文指導を行いました。 <p>＜3学年＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別懇談は行ったが、学力の向上につながったかどうかは把握することは難しい。 <p>＜2学年＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力が向上した生徒も多くみられるが、一方で、向上心を持続できず成績ダウンの生徒もいる。長期休業明けに学力テストを行うことで、新学期に向けて勉強する意識付けを促した。 <p>＜1学年＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト不振、提出物未提出、授業に集中できていない生徒が存在したので、三者懇談などを通じて、その点を指導しました。またクラスの席順を授業に集中できるよう考慮し、クラス全体に授業を大切にすよう啓発しました。 	
<p>キャリア教育の充実による</p>	<p>(1) 進路ガイダンスや工場見学、インターンシップなどを通して生徒の進路希望を実現できるよう取り組みます。</p> <p>＜進路指導部＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職にかかわる基礎学力の向上を図るとともに、さまざまな検査を実施し経験する機会を持ちます。 <p>（活動指標：基礎学力テスト：3年間で5回、YGP I 検査：1年次1回、クレペリン検査：2年次1回、SPI 検査・職業適性検査：3年次各1回）</p>	<p>＜進路指導部＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画通り実施したが、基礎学力テストについては1年次の3月に1回しか実施していなかったため、1年次の初期指導不足が課題であった。これを受けて、学習指導委員会の提案により、来年度からは回数を1年次に2回増やし、合計7回とし学期に1回ずつ定期的に実施することになった。また、3年次の職業適性検査の実施については今後見直しを検討する。 	<p>◎</p>

<p>る 進 路 希 望 の 実 現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自立を促し、社会に出てゆく準備として、職業・大学選択のガイダンス、キャリアアップセミナー・企業展やオープンキャンパスなどに進んで参加するよう呼びかけ、生徒自身が進路の実現に向けた活動をするこ とを促進します。 (成果指標：最終内定率 100%をめざす) <図書部> ・進路選択に関わる書籍や資格取得のための問題集を充実させます。 <建設工学科> ・進路に対し、自らが望む進路希望を実現できるように支援します。 <電気科> ・工場見学、インターンシップなどを通して生徒の進路希望を実現できるよう取り組みます。 <電子科> ・ものづくりを通して各々がコミュニケーション能力を向上させ、協力し合い、責任ある態度をとることや、社会において自立共生できる人格を育成します。 ・生徒自身が目標や達成度を明確にすることで自らが望む進路希望を実現できるように、自分自身を振り返る「キャリアデザインシート」も活用し、支援します。 <機械科> ・工場見学に参加し、職業意識、勤労意欲の高揚を図り、資格取得への取り組みから、技術・技能の向上を図り、就職試験対策として、一般常識、基礎的専門知識の学習指導を充実させ、希望する進路の実現をめざします。 <2 学年> ・進路希望を実現できるよう取り組みます。 ・積極的な資格取得を推奨します。 <1 学年> ・資格取得を通じて知識・技能・技術の習得をめざすとともに、授業や LHR などの普段の 	<ul style="list-style-type: none"> ・進学希望者によるオープンキャンパスは志望校に止まり複数参加することはあまりなかった。また、津市主催の企業展は実施日が 1 学期末テスト最終日であったため参加人数は伸び悩んだ。成果指標については、公務員志望を除き就職内定率は 100%が達成できた。 <図書部> ・工業関係専門書について、各科の選書協力を得て、古くて利用に堪えない本を書庫に移動。 ・資格取得のための問題集の発行年を確認、必要なものについては新しい本を購入 <建設工学科> ・進路に対し、就職希望の事業所に全員内定することができた。 <電気科> ・1 年生は、9 月に、碧南火力発電所および知多火力発電所の見学を行った。2 年生は希望者に、夏季休業中に 2 日間、中部電力株式会社三重支店においてインターンシップを行った。 <電子科> ・昨年度よりインターンシップ先を増やし、体験内容を充実させました。来年度に向けてさらに体験先を広げていきます。 ・工場見学では、1 年は碧南火力発電所・新名古屋火力発電所、2 年は瑞浪超深地層研究所・核融合科学研究所を見学し、新時代に向けたエネルギーへの見聞を広げました。来年度も継続していきます。 ・学期末にキャリアデザインシートを入力し、自身の目標への現在の到達度を自覚させる指導を行いました。 <機械科> ・第 1・2 学年は、各学年主導で工場見学を企画し、職業意識、勤労意欲の高揚につなげることができました。また、資格取得への取り組みから、技術・技能の向上を図り、希望する進路の実現をめざし、就職試験対策として、一般常識、基礎的専門知識の学習指導充実を図りました。 <2 学年> ・各科と連携して現場・工場見学の実施、及び各種資格取得に向けた講習や補習を実施。 ・それぞれの専門分野において、資格取得やコンクールなどで成果をあげている生徒もいる。 <1 学年> ・資格試験への取り組みを積極的に行えました。しかし合格率は 	
--	---	--

	<p>かかわりの中において、コミュニケーション力の向上に取り組みます。</p>	<p>よくありませんでした。もう少し徹底した補講が必要でした。また工場見学等では将来の就職先と考えらえるので積極的に見学を行えました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LHRやSHRでの声掛けを大切にしてきましたが、まだまだ「声の出せない」生徒が存在するので、継続して取り組んでいきたいです。 	
<p>基本的な生活習慣の確立と人権感覚の醸成</p>	<p>(1) 「あいさつ」や「身だしなみ」など当たり前前のことが当たり前に行えるよう取り組みます。</p> <p><生徒指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつ」や「身だしなみ」週間等設けて学校全体で取り組む雰囲気を作ります。 ・時間やルールを守る習慣を身につけられるように指導します。 ・施設をきれいに使うように指導します。特に昇降口の下駄箱の利用状況を改善します。 <p><進路指導部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活においての重要な資質である挨拶、言葉遣い、身だしなみ、立ち居振る舞いなどを生徒一人ひとりにその必要性を理解させます。 <p>(活動指標：進路資料室利用時等の日常の学校生活の中で指導します)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動を通じ、就職することが自己の生活を支えるためだけのものではなく、社会貢献の側面もあることを理解させます。 <p>(成果指標：生徒自らが進路希望の実現に向けた活動ができて、希望の就職先、進学先が決定できることをめざします)</p> <p><保健部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習環境を整え、清潔で快適な学校生活が送れるように努力します。 ・自主的に健康管理ができるように、健康の重要性と正しい生活習慣を認識させていきます。 <p><人権教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各分掌と連携して、日常において当たり前のことを当たり前に行える基本的な生活習慣の確立を目指します。 <p><図書部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用のルールを周知し、マナーの向上を図ります。 	<p><生徒指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月の求人票が企業から届く時期に「あいさつ・身だしなみ週間」を実施し来校する企業に対して良い印象を与えている。 ・遅刻の件数の減少（昨年度比 32%減） ・昇降口の下駄箱の利用状況は部活動の協力で少し改善されたが、2・3年生の下駄箱が改善されていない。3年生が卒業したあとに下駄箱の整備を実施する予定 <p><進路指導部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して指導できた。しかし、就職試験シーズンの頃は生徒の意識も高く、立ち振る舞いなどよく注意して行動できていたようだが、採用内定が決まり緊張感が薄れてくると、そういったところへの注意が散漫になっていたようである。3年次の受験シーズンだけでなく、1年次から継続して指導していくことが今後も大切である。 ・3年生には就職の目的が社会貢献にもあることを機会があれば伝えてきたが、1・2年次の初期のころからもっと伝えていく必要があった。今後も初期の段階から機会があるごとに指導していかなければならない。 <p><保健部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・分別ごみ箱の整備や掃除道具の整備を行った。教室がきれいな状態が保たれている。 ・保健室指導として怪我や具合の悪い生徒への声掛けも同時に行った。 <p><人権教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各分掌と連携して、基本的な生活習慣の確立につとめました。 <p><図書部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者にルールとマナーの遵守を呼びかけた。 <p>「あいさつ」に関しては、カウンターで顔を合わせた際挨拶また</p>	<p>◎</p>

<p><電気科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員室への入退室時を利用して、「あいさつ」や「身だしなみ」など当たり前のことが当たり前にできるよう取り組みます。 <p><電子科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣、勤労観など多面的に物事を考えられるよう指導します。 <p><機械科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の集合時を利用して社会人として必要な「言葉遣い」「礼儀」「あいさつ」等を身に付けるよう指導を行い、基本的な生活習慣の確立を目指します。また、学習環境の美化に努め、授業に集中させ、学力の向上と定着をめざします。 <p><3学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会性を身に付けるために以下のことを指導します。 <ol style="list-style-type: none"> ①集団行動の重視 ②学習環境の美化 特に教室横ロッカー、下駄箱上に私物を置かぬよう指導します。 ③正しい礼儀・挨拶・言葉遣いの習得 ④服装・頭髪を正しく整える力の習得 ⑤提出物の期限を厳守 <p><2学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活習慣に努め、欠席・遅刻・早退をなくすよう促します <p><1学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活習慣に努め、欠席・遅刻・早退をなくし、5分前行動を促します。 <p>(2) いじめ等の無いよう、相手を思いやり命を大切にすることを育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめに関するアンケートを実施します。 (活動指標：2回/年) <p><生徒指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人を大切にする心を養う。 	<p>は頭を下げて通っていく生徒が増えた。</p> <p><電気科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート提出は、できる限り直接に担当職員に提出するように指導してきた。また、職員室への入退室の際に、服装や挨拶なども含めて指導してきた。 <p><電子科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力の向上を促し、身だしなみや挨拶、自分の良さをしっかりと表現できるよう、特に1学期から重点的に3年生の面接指導を行うなかで指導を充実させました。 <p><機械科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立を柱として、学習環境の美化に努め、授業に集中させ、学力の向上と定着を目指した。頭髪・服装を常に正しくさせ、礼儀・挨拶・言葉使いを正しくすることにより、社会に貢献できる人間を目指した。 <p><3学年></p> <p>1学期は就職活動を控え、ほぼ問題なく過ぎた。就職試験前にはしっかりと面接指導を行った。</p> <p>2学期は就職が内定した頃から、緊張感がなくなった雰囲気になったが、想定内の範囲で留まったと思われる。</p> <p>①～⑤の項目についてもおおよそできているが、下駄箱上については整理できていなかった。</p> <p><2学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の学年と比べ、遅刻が多く見られたため注意喚起をおこなった結果、半減はしたがその後やや増える傾向が見られた。今後も根気よく指導していく必要がある。頭髪服装指導においては、指導対象者数は減少している。 <p><1学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や身だしなみなど、きちんとするよう指導してきましたが、まだまだ不十分なところがありました。継続して取り組みたいです。また遅刻や早退などは少なかったですが、欠席が少し多い生徒が存在したので、体調管理の大切さを促していきたいです。 <ul style="list-style-type: none"> ・6月、11月にいじめに関するアンケートを実施し、いじめ防止委員会で集約と分析をおこない、職員会議にて情報共有を図る。 ・いじめについて 認知件数：1件 <p><生徒指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・些細なトラブルであっても、解決に向け担任・学年・科・教育相談等とも連携を取り、早期に対応することでトラブルを解消 	<p>◎</p>
--	--	----------

<p><人権教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒対象の人権問題意識調査を実施し、今後の指導にいかします。 (活動指標：4月実施) ・生徒の個性と、心身がたくましく心豊かな生徒を育てられるよう、日々の生活の中で思いやりの心が持てるような接し方をしていくとともに人権LHRや人権講演会などの行事を利用し道徳的な思想を共に考える機会をもてるよう取り組みます。 (活動指標：年間1回、公開人権LHR(全学年)実施、年間1回人権講演会(公開)年間1回、人権LHR(1学年)) <p><保健部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に相手を思いやる気持ちを持たせることに努めます。 <p><教育相談></p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実した学校生活を送るための心理的支援と合理的配慮を行います。 ①教員間で連絡を密にしなが、悩みを持った生徒一人一人を大切にす相談体制を整えます。(活動指標：生徒の教育相談件数) ②中学校からの引き継ぎを大切に、個々の生徒を見守りながら必要に応じた合理的配慮を行います。(活動指標：個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成件数) ③状況に応じて教育相談専門員によるカウンセリングにつなげ、場合によっては保護者や医療機関等との連携も図ります。(活動指標：教育相談員によるカウンセリング2回/月、年間96時間) <p><図書部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・命の尊さを感じ、心を豊かにするための図書の選定に努めます。 <p><建設工学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業以外での声かけ・挨拶を積極的に行い、生徒と直接かかわる機会を増やし、日常的に大人とのコミュニケーションを増やすことにより、良識を身に付けた生徒の育成を目指します。 	<p>することができた。</p> <p><人権教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入生に対し人権問題意識調査を実施し、生徒の様子を把握することにつとめました。 ・1年を通じ、人権LHRや人権講演会などの行事を行いながら、人権問題について真剣に考えたり、話し合えたりすることができ、自分とは違う相手を認め、相手を大切に思う気持ちを育てることができたと思います。特に人権講演会では、「LGBT」についての話を聴き、生徒のアンケートや感想からも満足度の高い講演会となりました。また、1年生対象に「気づく・つながる・つくりだす」を利用した人権LHRを行いました。1年たって改めてこの人権LHRを行うことにより、コミュニケーション能力を身に付ける方法を考えたり、相手の事を理解することにより、円滑な人間関係の育成につなげることが出来たと思います。 <p><保健部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちになって物事を考えるよう指導。 <p><教育相談></p> <ul style="list-style-type: none"> ①担任、部顧問等と連携して、悩みを持つ生徒に対しての早期相談を心がけた。また、生徒対応について担任と何度も相談を重ねた。(延べ53件) ②生徒の個性に応じた合理的配慮を考えた。(作成件数：1) ③生徒・保護者の状況に応じて教育相談員のカウンセリングにつなげた。(カウンセリング16回、79時間) <p><図書部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権感覚を養う書籍の購入を随時おこなっている(LGBTに関する書籍 他) 人権講演会(LGBT)関連の展示をおこなった。 <p><建設工学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業以外での声かけ・挨拶を積極的に行うことにより、生徒と直接かかわる機会を増やしている。 	
--	--	--

<p><電子科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳と情報モラルがリンクした学習を展開することにより、現実社会において必要な倫理観や資質を養います。 <p><機械科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の学習の中で、人の痛みがわかる感性を養うことをめざします。 <p><3学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の様子を気遣い、仲間意識を持つようにHRで指導します。 <p><2学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育祭・文化祭・クラスマッチなどの学校行事においてクラス団結や人権 LHR など心豊かな生徒を育成するよう努めます <p><1学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・LHRなどを利用し、社会のルールやマナーなど道徳教育にも努めます。 	<p><電子科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会モラルや他人を思いやる配慮の醸成など、座学・実習において連携しながら継続した指導に取り組んでいます。 <p><機械科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の学習の中で、生徒とのコミュニケーションを密にするように心掛け、いじめ等の有無に注視し、生徒には、人の痛みがわかる感性養う指導を継続して推進した。 <p><3学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ等の有無に注視してきた。 <p><2学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育祭・クラスマッチにおいて、各クラスとも一致団結して取り組んでいた。文化祭は招待した友達に楽しんでもらえるよう、各クラスで工夫されていた。修学旅行では宿泊や小グループでの行動により、親交を深めることができた <p><1学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・礼儀やマナーなどが不十分な生徒が存在しました。相手の気持ちや社会的ルールを守る必要性を継続して指導していきたいです。 	
--	--	--

改善課題

多くの生徒が、落ち着いて学習活動や資格取得に熱心に取り組んでいます。授業内容を確実に理解できるようにするためには、さらにきめ細かい指導を進め生徒の学力向上につなげる必要があります。

生徒の多様な進路希望を実現していくためには、生徒一人ひとりがさらに明確な目的意識を持ち、職業観や勤労観を育むとともにコミュニケーション能力を向上させていくことが必要です。また、卒業後、多くの生徒が就職する中で、社会人としてのマナーを確実に身につけておくことが重要です。

生徒が気持ちよく高校生活を送るためには、自分とは違うということや相手の人を否定するのではなく、お互いに認め合い、相手のことをしっかりと考え思いやりを持って過ごすことができる力の育成を進めることが大切です。

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。
【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。
【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
資質 向	<p>(1) 授業見学会の実施など、指導力の向上に取り組めます。</p> <p><教務部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業見学等を実施し、職員の資質向上を図 	<p><教務部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学期、2学期に授業見学週間を実施し、職員の資質向上に取り 	◎

<p>上の取組</p>	<p>ります。</p> <p>(達成状況の指標：授業見学週間・検討会 2回/年)</p> <p><人権教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現職教育を充実して、全教職員の意識の高揚に努めます。 <p>(取組状況の指標：年間 1 回)</p> <p><図書部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の図書館利用を積極的によびかけ、読書を通じた職員の資質向上を図ります。 <p><建設工学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各職員の得意分野を相互に享受しあいスキルの向上をはかります。 <p><電気科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科会を利用し、学習活動について話し合い、指導力の向上に取り組みます。 <p><電子科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業高校長会主催の研修会なども利用し、生徒の興味関心を引く「わかる授業」や資格取得の効果的、効率的な指導方法を研究するなど、指導力の向上を目指します。 <p><機械科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科・実習共に教職員間の連携により研修を積み重ね指導力の向上に取り組みます。 <p><1 学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットなどを通じて、知識や技能向上を図ります。 	<p>組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事・勤務等の関係で見学する職員が少ない。時期、期間などについて検討していく。 <p><人権教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年の公開人権 LHR では全教職員が指導案検討会や授業振り返り会に参加し、各学年の人権学習のテーマや効果的な指導について、検討を重ねその後に生かすことが出来た。 ・「LGBT」についての人権講演会に向けて、教職員の事前研修会を開き理解を深めた。 <p><図書部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の利用者数増加 24 名/91 名中 (26.4%) <p>職員貸出冊数 539 冊</p> <p><建設工学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新採教員が配置されたことから、職員全員で取り組み各自自己を高めることが出来た。 <p><電気科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座時間内に教科会議の時間を設け、毎週のように実施している。2 月末までに 27 回の教科会議を実施した。 <p><電子科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の教員夏期講習会において、電子科教員全員がそれぞれ各自目的に応じた講習コースに参加しました。持ち帰った情報及び資料は、2 学期に共有を図り、授業への活用を検討しました。 <p><機械科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科・実習共に教職員間の連携により研修を積み重ね指導力の向上に取り組みます。また、他校職員との研修を主導運営し、技術の継承につとめた。 <p><1 学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットなどを通じて、新しい知識や教材研究など積極的に行えました。 	
<p>情報共有の推進とチームワーク</p>	<p>(1) 教職員間の連携を密にし、情報共有を推進します。</p> <p><教務部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任と教科担当者の情報交換・情報共有を密にし、生徒一人ひとりのつまずき、課題等を洗い出して、克服のための指導協力体制をとります。(取組状況の指標：教科担当者会議 1 回/学期) <p><生徒指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の打ち合わせにより、業務の確認等の情報共有を図ります。 ・週 1 回、現状を把握してチームで会議を開いて情報共有します。 ・職員全員が、取り組みについて理解できる 	<p><教務部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科担当者会議は行っていないが、各考査後等に教科担当と学級担任の連絡を密にしている。 <p><生徒指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、打ち合わせの実施により情報共有ができています。 ・打ち合わせの情報を学校掲示板を利用して職員全体に提供している。 ・デスクネットを活用して、情報共有を図ることが出来ている。 	

<p>ク の 向 上</p>	<p>ようにデスクネットςを利用し職員会議の前に情報提供して、納得し行動できるようにします。会議では、できるだけ丁寧にわかりやすく説明します。</p> <p><進路指導部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの進路実現のため、5月から160社程度の企業訪問を進路指導部の他、各工業科、3学年担任団と協力して実施し、求人数の確保に努めます。 <p>(成果指標：1次就職試験の求人数を就職希望者の3倍以上を確保します)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学年担任団との連絡会を実施し、就職および進学に関する情報伝達を確実にして、生徒の就職活動を促進します。 <p><人権教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育推進委員会および人権教育推進連絡会を定期的に開催し、情報の共有と取り組みの確認をします。(取組状況の指標：委員会 原則月1回、連絡会 原則年6回) <p><図書部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館便りや新刊案内の定期発行を通じ、生徒並びに教職員への情報提供を行います。 <p><建設工学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員相互の連携を密にし、生徒にかかわる情報の共有化をより一層はかり、共通認識を持って指導にあたります。 <p><電気科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科会を利用し、教職員間の連携を密にし、情報共有を推進します。 <p><電子科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・より適切な生徒の指導に向けて、生徒に係わる情報の共有化を深めます。 <p><機械科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科会議において、教職員間の連携を密にし、情報共有を推進しチームワークの向上をめざします。 <p><3学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年団の連携を密にします。 <ol style="list-style-type: none"> ① 学年団としての打ち合わせを毎朝行います。 ② 次年度の3学年に引き継ぎの出来るデータの整理につとめます。 	<p><進路指導部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問企業数は、のべ140社であったが、好景気も助けて昨年を上回る求人数を確保することができた。倍率では県内・県外ともに約4倍の求人が得られた。さらに、景気に頼ることなく求人数が維持できるように、企業との意思疎通を図りたい。 ・3学年と進路指導部の連絡会を実施し連携して進路指導した。また、朝の打ち合わせを活用し、なるべく早く情報を伝達し合った。 <p><人権教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育推進委員会を3回、人権教育連絡会を6回開催し、情報の共有と取り組みの確認を行いました。 <p><図書部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館便り発行7回、新着案内発行1回 <p><建設工学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通認識を持った指導が概ね出来た。 <p><電気科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科会議のときを中心に情報共有などを行い、適宜、連絡などを行った。随時、回覧などを多用し、連絡などがいきわたるようにしてきた。 <p><電子科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週木曜日に電子科会議を持ち、教員全員が生徒情報やその指導経過、授業進捗状況など科関連の情報共有を行い、科教員が統一した生徒指導ができるように図りました。 <p><機械科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1時間の打ち合わせの時間が、行事の関係で十分確保できなかったが、該当グループに限定した打ち合わせなどによる対応で教職員間の連携を密にし、情報共有を推進しチームワークの向上と生徒育成、設備機器の保全が向上した。 <p><3学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本来の勤務時間より前の打ち合わせであるが、学年団の意向として成り立っている 	
----------------------------	---	---	--

	<p>< 2 学年 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年全体の情報共有を積極的に行います <p>< 1 学年 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝打ち合わせを行い、週に 1 回の学年会を持ち、情報共有、意見交換を行います。 	<p>< 2 学年 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の打ち合わせ等を利用して、必要に応じて打ち合わせをおこなった。 <p>< 1 学年 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の打ち合わせなど、必要な連絡はスムーズに行えました。またクラスの諸問題などの情報も、担任打ち合わせなどで、ある程度共有できました。 	
<p>情報提供による信頼の構築</p>	<p>(1) ホームページやきずなネットによる情報提供を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絆ネットを使い行事予定の配信及び、保護者宛文書配布の際にはその都度情報提供を行います。 <p>(活動指標：行事予定配信 1 回/月)</p> <p>< 1 学年 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各工業科、各分掌からの連絡事項を的確にクラス生徒に情報提供を行います。 <p>(2) 授業公開や学校見学会等を実施するとともに中学校をはじめ関係機関等との情報共有を推進します。</p> <p>< 教務部 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開授業・学校見学を行い、保護者、中学校への情報提供を行います。(取組状況の指標：公開授業 2 回/年、入門講座 1 回/年) <p>< 建設工学科 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設業界等関係機関との連携を推進します。 <p>< 電気科 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会などを利用して、電気科の紹介を進めていきます。 <p>< 電子科 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生を対象としたワークショップの開催や、大学との連携を実施していきます。 <p>< 機械科 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会、高校生活入門講座等で機械科の紹介を推進します。 <p>< 1 学年 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 学年団として保護者への文書連絡や電話連絡も適切に行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絆ネットにより毎月行事予定を配信。また、保護者宛文書配布等の際には、適宜情報提供を行っている。 <p>< 1 学年 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRなどでさまざまな情報を、きちんと伝えることができました。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会(8 月)、高校生活入門講座(10 月)、中 3 生保護者対象実習見学週間(9 月)、中学校教員対象学校説明会(9 月)、塾対象学校説明会(9 月)を実施。 <p>< 教務部 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開授業を実施した。(1 学期に 1 回実施、入門講座 2 学期に実施) <p>< 建設工学科 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校への出前授業実施や学校見学会等の実施で情報共有が概ね出来た。また見学会等を通じ建設関係の業界との連携が取れた。 <p>< 電気科 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・8 月の学校説明会、10 月の生活入門講座など、1 年から 3 年まで約 20 名の生徒の協力で、電気科の説明を行った。 <p>< 電子科 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生対象に、夏期にレゴ宇宙エレベータのワークショップを行いました。また、初任研教員講座においてもその取り組みを紹介し、体験実習を行いました。課題研究班においては、大学実施のロボット競技大会(横浜市)に参加し、その成果を課題研究発表会で発表しました。校外成果発表会は、神奈川大学で行われ、総合 2 位及びブレーキ部門賞・デザイン部門賞を受賞しました。 <p>< 機械科 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会、高校生活入門講座、出前授業等で、機械科の紹介を推進できた。 <p>< 1 学年 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時や学習指導上、生活指導上の問題が生じたときなども、速やかに保護者と連絡が取れました。 	

<p>働 き や す い 職 場 環 境 づ く り</p>	<p>(1) 教職員満足度の向上に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校独自の満足度調査を実施し、問題点等を洗い出し改善につなげる。 <p><教務部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場環境を改善し、連絡や書類等の円滑な伝達に向けた取り組みを強化します。 <p>(達成状況の指標：職員室教務部および保管庫の整理・整頓)</p> <p><生徒指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オフサイトミーティング等を活用して、誰もが発言しやすい環境を整えます。 <p><保健部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の健康管理にも働きかけサポートしていきます。 ・清潔で働きやすい環境づくりに努力していきます。 <p><図書部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館が職員の心の充実の場となるように、図書を選定し、環境整備に努めます。 <p><建設工学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい環境をつくりまます。 <p><電気科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちにゆとりを持てる電気科職員室に改善します。 <p><1学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせや学年会を通じて、1学年団として、意見が出やすい雰囲気づくりに努めます。 <p>(2) 総勤務時間の縮減に向け、年次有給休暇等を取得しやすい環境をつくりまます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が年次有給休暇等を取得しやすい環境をつくるため、業務の見直しや体制整備に努めます。 <p><生徒指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・係りを複数で担当し、有給休暇等を取得したときでも業務ができる体制を整えます。 <p><1学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年休、出張時などにおいて、担任業務を副担任や各工業科の教員がフォローしやすい環境づくりを図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度について「不満である」18.3% (H27比 4%増) <p>満足度の低い項目としては、「ビジョンの把握」「仕事の協力と連携」「業務における引継」「必要な情報の認識」「校内人事の進め方」という結果となった。</p> <p><教務部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務部の保管庫の整理整頓を行い、不要物の整理を行っている。 ・職員への連絡を複数の手段で行うようにした。 <p><生徒指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学期にオフサイトミーティング実施して、誰もが発言しやすい環境が出来つつある。 <p><保健部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・話をすることにより少なからずサポートが出来ていると思います。忙しい職員の心のケアになっていると思います。 <p><図書部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業・進路・生徒指導関連の図書の他、文学作品等の貸し出しも多かった。職員から要望のあった書籍の購入・借入等もおこなっている。 <p><建設工学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各コース間の連絡を密にとることにより環境を良くすることが出来た。 <p><電気科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気科職員室において、少しでも快適に過ごせるように工夫した。 <p><1学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較的話しやすい雰囲気の中で打ち合わせなどを実施でき、学年間の情報も共有できました。 <ul style="list-style-type: none"> ・満足度調査においては、「必要な時に休暇等を取得できる」に対し、「そう思う・ややそう思う」との回答が83%ですが、多忙化がますます進んでいるのではないかと感じる面もあります。 <p><生徒指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・係の複数担当により、体調を崩すなど急な年休時の対応や、家族の病気や介護が必要な時に有給休暇を取れる状況ができた。 <p><1学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任不在時は副担任や科の教員によるフォローで対応することができました。 	<p>※</p>
--	--	---	----------

改善課題

基礎学力の向上を目指し、授業内容を充実するとともに授業公開や授業研究に取り組み、教職員の資質向上や業務改善に継続的に取り組むことが必要です。

多忙化がますます進んでいる中で、活力ある学校組織を構築するため、教職員が意欲的に業務に取り組み、充実感、満足感を得ることができるよう、働きやすい職場環境の整備や組織の見直しなどに取り組むことが必要です。

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	<p>(第1回：6/22(水)、第2回：12/13(火)、第3回：3/3(金)の3回実施)</p> <ul style="list-style-type: none">・生徒のために親身になり、きめ細かな指導を行ってもらっている。・最近、物事を行うにあたって組み立て(段取り)が出来なくなっている若者が増えつつあるなか、工業高校の生徒はよく修練されていると感じる場面が多い。・工業高校生のインターンシップは他学科の生徒とは違ったものだと思うが、生徒達がより目的意識を明確に持てるよう、今後も有効的な活用を検討して行ってほしい。・地元に残り、地域の産業を支えているのは工業高校の卒業生なので、これからもきめ細かな指導を継続し、就職することへの意識を高めていてもらいたい。地元で頑張っている企業の多くが、工業高校生を必要としている。・生徒・保護者負担を増やすことなく施設・設備の充実が図れるよう働きかけて行ってほしい。また、校舎のバリアフリー化等の推進もして行ってもらいたい。
---------------------	--

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	<ul style="list-style-type: none">・本校で生徒達が過ごす3年間の中で、基本的な生活習慣や生活規範を備えさせ、またコミュニケーション力、あるいは技能・技術の向上を図るなど社会で活躍するための力を蓄えさせた上で、進路実現するにあたっての様々な支援体制が確立されてきているので、今後さらなる充実を目指し改善に取り組んでいく。・基礎学力の向上・定着に向け、各部署の連携を深めながら取り組みを進めていく。
学校運営についての改善策	<ul style="list-style-type: none">・授業見学週間のさらなる充実を図るため時期、期間などについて今後検討していく必要はある。・本校の教育活動・各科の特色等、さらに見えやすく理解してもらいやすい状態にするための方法や機会を工夫していくことが大切となる。・職員満足度を高めるため教職員が一体となって取り組めるよう協力体制の充実を図る必要がある。